

リウマチとして受診、ヘルペスの治療もされている患者さんの手記。  
みなさんも、ご自身の症状以外の手記も参考になさってください。

## 「リウマチ・ヘルペス手記」 上原由香 43歳

2014年12月15日

松本医院に出逢えて

松本医院との出逢いは、母がリウマチの時でした。母は整形外科を転々とするうちに、リウマチと診断された時には症状が重くなり、整形外科で処方された薬の副作用からか、「死にたい!」と精神的に押し潰されそうになっていました。そんな時、当時の職場の同僚がインターネットで、松本先生の論文や患者さんの手記を印刷して渡してくれたのです。それを母に読んでもらい受診を勧め、松本医院へ通い、松本先生からの「正座が出来るようになる!治してあげるから!」と心強い言葉に、生きる気力を取り戻しました。そして、その言葉通り母はリウマチが完治し、現在は趣味である歌で人生を楽しんでいます。

すると、今度は私がリウマチとヘルペスで、お世話になる事になりました。H21年12月頃より疲れが取れなくなり、H22年2月より咳が出始めたので、風邪かと思いきや風邪薬を飲むが下旬になっても咳が止まらない為、2/26内科を受診し軽い肺炎と診断されました。3/1から仕事を休む事になっていた前日、今までに経験したことのない激痛が右肩におこり、左手で右手を持ち上げなければ動かすことが出来ないほどの痛みでした。数日して肺炎は治ったものの、関節の痛みが、右(肩・手首・手指・額関節・足裏・股関節)左(肩・手首・手指・額関節・膝・足の指・足裏)等、転々と移動していた為、母に「リウマチかもしれないから、整形外科を受診した方がいい」と言われたので血液検査をしたところ、リウマチと診断され『リウマトレックス』を処方される。が、私は服用せず松本医院を受診しました。

現在、仕事で夜勤をしながらも、少しずつですが治ってきている事を実感しています。嬉しいです。現代医学の薬を飲み、副作用に苦しんでいる方の話を耳にする事がありますが、私は、松本医院との出逢いがあったからこそ対処療法ではない、『根本治療』を知る事が出来ました。松本先生、松本医院の皆様方、本当に有難うございます。もう少しお世話になりますが、宜しくお願い致します。